

事前・事後学修にLMSを用いて 考えさせる教養教育の試み

駒澤大学 法学部教授 清滝 仁志

2018年12月22日(土)

1 教養とLMS

- 拙書『自由と教養』(啓文社書房)2月刊行
自由主義者・河合栄治郎(1891-1944)の社会教養主義
人格の陶冶と社会性
- 教養は語られるが・・・
教養科目は知の多様化とともに“趣味”扱い
ディレッタントとしての教師
学生に知的共感や学習意欲を求めにくい状況
- グローバル化・IT発展の中での教養教育の可能性

2 政治思想史の事例

2018年度 受講者200名・専門教育科目
通年・週1回(30回)・2～4年生

思想家とその古典作品を取り上げ、西洋政治思想史
を講義

学内授業支援システム YeStudyを活用

政治学科の中の位置づけ(駒澤大学法学部)

現代社会と政治コース

- ◆ 政治学方法論1・2
- ◆ 政治制度論
- ◆ 政治過程論
- ◆ 政治社会学
- ◆ グローバルガバナンス論

- ◆ 現代政治理論応用
- ◆ 日本政治史
- ◆ 国際関係論
- ◆ 政治経済学
- ◆ ジェンダーと政治

- ◆ 政治思想史
- ◆ ヨーロッパ政治史
- ◆ 比較政治学
- ◆ 外交・安全保障論

行政・公共政策コース

- ◆ 地方行政
- ◆ 民法(総則・物権法)
- ◆ 都市・まちづくり論
- ◆ 公共政策論

- ◆ 政策決定論
- ◆ 刑法総論
- ◆ 社会政策
- ◆ 行政救済法(3・4年次)

- ◆ 行政法総論
- ◆ 地方自治法
- ◆ 環境政策
- ◆ 労働法(3・4年次)

国際・地域研究コース

- ◆ ヨーロッパ政治史
- ◆ 比較政治学
- ◆ 北米政治論
- ◆ 中東政治論
- ◆ 東南アジア政治論
- ◆ ヨーロッパ政治論

- ◆ 日本政治史
- ◆ 外交・安全保障論
- ◆ 中南米政治論
- ◆ アフリカ政治論
- ◆ 南アジア政治論
- ◆ EU政治論

- ◆ 国際関係論
- ◆ 国際法
- ◆ オセアニア政治論
- ◆ 東アジア政治論
- ◆ ロシア政治論
- ◆ グローバルガバナンス論

政治とメディア研究コース

- ◆ 政治制度論
- ◆ 比較政治学
- ◆ ジャーナリズム論
- ◆ 政治心理学

- ◆ 政治過程論
- ◆ 政治学方法論1・2
- ◆ 比較メディア論
- ◆ 政治社会学

- ◆ 政策決定論
- ◆ マス・コミュニケーション論
- ◆ 数量政治学
- ◆ 政治経済学

3 政治思想史と教養

- 政治学は最古の学問

古代ギリシア起源 politics / democracy / demagogue

- 政治思想= 西欧社会に共通する“**教養**”

The Economist 175th anniversary

A Manifesto for Liberalism

Philosophy Briefs: Liberalism's greatest thinkers

01

日本は
西洋的価値観を
共有

02

政治・経済・社会
の基礎

03

自由・民主主義・
法の支配

04

非西欧社会で
日本は例外的に
政治思想史研究
が進展

4 政治思想史の盛衰

政治学＝政治思想史の時代

西欧の古典を読む＝政治学の学習であった

旧教養部の政治学は政治思想史中心

実務的教育の重視とともに比重低下

文学部に近い周辺の科目・・・思想＆歴史

実務とは関係ない知識＝ディレッタント？

政治思想史研究も趣味化？

研究の国際化によって精緻化

現実政治との乖離・観念化

外部にわかりにくい議論を展開

5 政治思想史講義の課題

(1) 政治思想史の授業は古典的

政治思想史は**授業でのICT活用が遅れた分野**
学会報告でもパワーポイント使用は限定的
報告原稿を読む形式が一般的

2004年12月 「政治思想学会」会報

学会報告の方法の提言

...本学会の大半の発表のように論理展開やテキストの読みが決め手となる場合はパワーポイントを利用する価値はあまり高くない...

政治思想史の授業は...

テキストの解釈中心

教科書＋板書／レジュメの使用

授業は教員の一方的解説が主となりがち

試験も知識を問うことが多い

異文化の西欧古典の知識習得は必要

もともと文学部的科目で多人数教育に向かない

(2) 双方向授業は可能か？

サンデル「白熱教室」のような対話型講義

社会問題を挙げ、事例を通し、哲学的議論を展開

ソクラテス的方法

日本における困難

- ① 学生に西欧文化の共通基盤がない。
- ② 学生にしっかりした予習習慣がない。
- ③ 自己流の意見応酬に終始する懸念がある。

(3) ICT活用による授業改善

- ・ 対話授業的要素をICTによって実現
授業開始前・終了後
- ・ 海外と共通する西洋古典の知識を効率よく学習
- ・ テキスト読解を自学で補うための情報提供・課題提示
- ・ 論理的・比較的思考や意見表明の能力を育成

6 講義としての政治思想史の目的

日本の政治議論の弊害は...

個別的・技術的・法的議論

感情的・ステレオタイプの議論

ほとんど検討されていない、自覚していない、人々の**価値観**の存在を問う政治学の提示

人間や社会について**考え方**と政治・社会**制度**との関係解明

歴史的に思想家を取り上げることで説明

7 講義の具体的方法

(1) 資料等の事前提供

参考文献の提示

WEBのリンク

授業使用のスライド(PDF)を提供

予復習可能であり、授業中にPC／スマホで閲覧可

(2) スマホを活用したアンケート実施

授業の内容と関連した学生の知識・意識を冒頭に確認

集計した結果を表示し、解説

当日の授業のポイントを最初にアナウンス

例：2018年12月18日の授業の例

- 1 被災者の子弟が大学受験をした際、点数を30点増しというのは？
- 2 プロ野球選手(4000万円以上)の年棒の55%が税金というのは？
- 3 高級住宅地にある公有地にホームレス施設をつくることは？

(3) パワーポイントを用いた解説

- 授業でのポイントを整理し、随時、学生に質問
- 文字の羅列を避け、抽象的概念を図示したり、具体的画像をもちいて説明

保守	リベラル
自由競争	社会的平等
小さな政府(州重視)	大きな政府(連邦重視)
社会倫理・家族	個人の自由な生活
勢力均衡	国際協調・国際的介入
伝統的価値	国民の多様性
中西部・南部	ニューイングランド カリフォルニア



(4) 授業終了後の課題提出

授業終了後の課題提出

毎回、授業に関係したテーマに関して自己の見解を提出

次回の授業での紹介・解説／成績判定の材料

- 11月13日(ミル)

個人の自由が制限されるのが許される場合を具体的にあげてみてください。

(200字程度)

- 11月20日(マルクス)

グローバル化によって社会格差が拡大しているといわれます。その原因は何だと思えますか。自分の意見を書いてください。(350字以上)

(5) 長期休暇での課題提出

6つのジャンルの課題の中から2つを選択し、課題図書を読み、エッセイを提出

夏休みの課題(7月上旬に提示・9月中旬締切)

マキアヴェッリと近代政治学

マキアヴェッリは政治指導者にどのような資質を求めていますか？『君主論』を読んでまとめてください。現在の具体的な事例も用いてください。2000字程度。講義で紹介した塩野七生の著作も参考に用いてよいです。

欧米社会とイスラムとの関係

ヨーロッパにおけるイスラム排斥の政治的潮流の現状と原因とその対応策について、水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書)を読んで自分の意見をまとめてください。2000字程度。

(6) 学生の出欠・授業参加の管理

各学生のシステムへのアクセス確認

ページ閲覧

アンケート回答

課題提出

一定の期間以上アクセスがない学生を自動削除(30日)



07月24日 14:14	lr6250	-	フォーラム: 先生からのお知らせ	フォーラム	コースモジュールが閲覧されました。	The user with activity with c
07月24日 14:03	lr6250	-	コース: 政治思想史(火3)(清滝 仁志)	システム	コースが閲覧されました。	The user with with id '2674'
07月24日 14:00	lr6250	-	ファイル: 社会契約説と政治	ファイル	コースモジュールが閲覧されました。	The user with 'resource' act '24843'.
07月24日 14:00	lr6250	-	コース: 政治思想史(火3)(清滝 仁志)	システム	コースが閲覧されました。	The user with with id '2674'
07月24日 13:31	lr6250	-	ファイル: 朝日新聞7月23日記事	ファイル	コースモジュールが閲覧されました。	The user with 'resource' act '24815'.
07月24日 13:30	lr6250	-	ファイル: 社会契約説と政治	ファイル	コースモジュールが閲覧されました。	The user with 'resource' act '24843'.

8 授業を通じた課題

- ①課題・エッセイにおける文章作成力の貧弱
 - 講義や書物内容の祖述
 - 論理的に自分の意見を表明する能力不足

- ②抽象的思考・論理的思考能力の不足
 - 具体的な問題の意見はいえるが、抽象的する論議は不得意

- ③紙文化の日本の学生
 - レジュメをプリントアウトして使用

- ④他の授業との連携の必要性
 - 旧来のスタイルの講義が併存する状況での限界